



2021年4月6日

各 位

会社名 株式会社スズケン
代表者名 代表取締役社長 宮田 浩美
(コード番号 9987 東証・名証第1部、札証)
問合せ先 代表取締役副社長
コーポレート本部長 浅野 茂
(TEL . 052 - 961 - 2331)

**自宅や出先からスマートフォン・PCで事前に問診が完了できる
自治体向け「ワクチン接種 Web 問診システム」の共同展開に関するお知らせ
～予診のデジタル化で、会場での感染拡大防止とワクチン接種の効率化をサポート～**

当社は、2020年4月28日にUbie株式会社(以下、「Ubie」といいます。)と資本業務提携を締結し、これまでもUbieの医療機関向け問診サービス「AI問診ユビー」の普及を行ってまいりました。

全国で実施される新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチン接種に関し、Ubieが自治体向けに「AI問診ユビー」を活用した「ワクチン接種 Web 問診システム」について、本サービスの普及に向けて共同展開しますので、お知らせいたします。

本サービスは、住民が自宅や出先からスマートフォンやPCで回答した問診結果を送信することで、来場前に接種会場のスタッフが問診結果を確認できるようになります。これにより、自治体・医療機関の業務効率化や滞在時間短縮による会場内の感染リスク軽減等を実現し、ワクチン接種のスムーズかつ安全な運営をサポートします。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大している未曾有の状況下において、安心・安全な日本の医療体制維持に寄与すべく、「ワクチン接種 Web 問診システム」を必要としている自治体への普及に向けて、医薬品卸においては当社グループが独占的に推進してまいります。

すでに、「AI問診ユビー」は、46都道府県、350施設以上の医療機関に導入されていますが、スズケングループが保有する全国の医療機関や自治体へのネットワークやMS(営業担当者)による提案機能を駆使し、Ubieと連携しながら早期に必要な自治体へのサービス提供およびサポート体制の構築に努め、感染症の拡大防止に寄与してまいりたいと考えております。

今後もスズケングループは、協業するデジタル企業とともに新たな医療情報プラットフォームを構築し、新たなソリューションを提供することで、社会に貢献してまいりたいと考えております。

1. 「ワクチン接種 Web 問診システム」提供の背景

全国で順次開始される新型コロナワクチン接種では、住民へ速やかにワクチンを行き渡らせるための実施体制整備と業務効率化が必要不可欠です。特に各自治体の事前訓練では、予診票の記入や医師の問診で想定以上の時間が掛かったという課題が挙げられています。同時に、新型コロナウイルスの感染拡大は、複数の自治体が独自の緊急事態宣言を発出するなど未だ予断を許さない状況が続いており、多くの住民が集まる会場で安心・安全にワクチンを接種できる感染拡大防止対策も求められています。このような背景を受け、当社は来場前に Web で問診を完結できるシステムの提供を開始します。

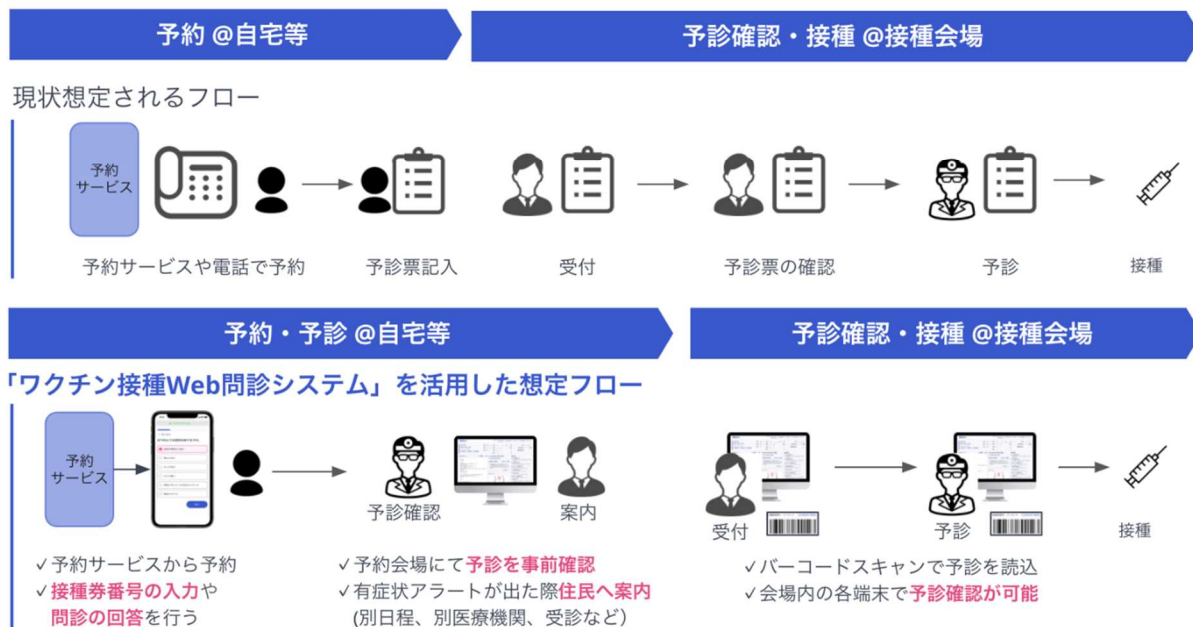
本システムは2020年5月より提供を開始し、医療機関の来院前・来院後の院内感染対策支援で成果を上げている「COVID-19 トリアージ支援システム」を活用したものです。来院前の Web 問診情報に応じて医療機関がトリアージ(優先度付け)と受診案内が可能となり、これまでに70以上の医療機関で導入されています。

2. 「ワクチン接種 Web 問診システム」概要

< 「ワクチン接種 Web 問診システム」導入のメリット >

- ・住民の会場滞在時間短縮により、接種の効率化と会場内での感染拡大防止に寄与
- ・新型コロナウイルスに関連する有症状者を来場前に検知でき、個別の案内・対策が可能

「ワクチン接種Web問診システム」を活用した予診の想定フロー



「ワクチン接種 Web 問診システム」は、紙の予診票の記入に代わり、住民が事前に自宅や出先からスマートフォン・PCで問診に回答できるシステムです。問診結果は接種会場の端末へ送信され、住民は接種会場に到着後、自治体から発行された接種券番号のバーコードの提示によって医師の予診・ワクチン接種に進めるようになります。自治体側も、紙の受け渡し回数を低減した上で、バーコードのスクリーンによって各端末に問診データをすみやかに読み込み、住民の滞在時間短縮による接種の効率化と、会場内での感染拡大防止が期待できます。

また、Web 問診で新型コロナウイルスに関連する症状が確認された場合はアラートが表示されるため、自治体・医師は住民が来場する前に連絡を取り、別日程や医療機関での受診といった適切な案内ができるようになります。

なお、本システムは自治体や医療機関がコロナワクチン接種に活用する外部予約サービスと連携した上での活用を想定しています。

3. 日程

共同展開開始日 2021年4月6日

4. 今後の見通し

本件に伴う業績への影響は軽微なもの見込んでおりますが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上

<ご参考>

【Ubie 株式会社について】

「テクノロジーで人々を適切な医療に案内する」をミッションに掲げ、医師とエンジニアが 2017 年 5 月に創業したヘルステックスタートアップです。AI をコア技術とし、医療現場の業務効率化を図る AI 問診サービス「AI 問診ユビー」と、生活者の適切な受診行動をサポートする「AI 受診相談ユビー」を開発・提供。誰もが自分にあった医療にアクセスできる社会づくりを進めてまいります。

(1)	名称	Ubie 株式会社
(2)	所在地	東京都中央区日本橋室町一丁目 5 番 3 号 福島ビル 6 階
(3)	代表者	共同代表取締役 阿部 吉倫・久保 恒太
(4)	事業内容	ソーシャル医療プラットフォーム事業
(5)	設立年月日	2017 年 5 月
(6)	ホームページ	https://ubie.life/

【生活者向け「AI 受診相談ユビー」について】

「AI 受診相談ユビー」は生活者向けに症状から適切な医療への案内をサポートするサービスです。いつでもどこでも気になる症状から、関連する病名と適切な受診先を調べることができます。かかりつけ医等地域の医療機関や、#7119 等の救急車対応、厚生労働省等の公的な電話相談窓口への適切な受診行動を支援します。2021 年 4 月現在、月間 80 万人以上に利用いただいています。

URL : <https://ubie.app/>

【医療機関向け「AI 問診ユビー」について】

「AI 問診ユビー」は医療機関の紙の問診票のかわりにタブレットを活用した問診サービスです。医療機関にて患者様はタブレットを使って症状を入力することで、医師等の診察前の待ち時間を活用し、事前に詳しい症状の内容を伝えることができます。医師は文章に翻訳された問診内容と病名辞書の結果を活用することにより、電子カルテに記載を行う事務作業が大幅に削減され、より患者様に向き合い診察に集中できるようになります。

2021 年 4 月現在、46 都道府県・350 以上の医療機関で導入されています。第三回日本サービス大賞で「厚生労働大臣賞」と「審査員特別賞」を受賞しました。